

1. 海上ルートの実現について

- 海上ルートの実現に資する研究（地域固有の気象条件を活用した曲線半径小回り化等）について国内外の研究機関等との連携を推進するなど、海上ルートの実現可能性を追求する。
- 将来的な海上ルートの実現の際のRNP-AR方式の導入に向けて、機材更新の際には同方式に対応した機材とするよう航空会社に促すなど、同方式の導入の際の課題解決に向けた取組みを推進する。
- 加えて、RNP-AR方式への対応状況について、未回答の外国事業者を含めフォローアップを引き続き進めるとともに、羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会の間とりまとめで提言された対策を着実に進める。

2. 更なる騒音負担軽減について

- 低騒音機材の導入促進のため、更なるインセンティブが働くような仕組みの検討を進める。
- 海外の他空港でも推奨しているA320シリーズ向けの騒音低減装置等について、その導入を推進する。
- JAXAと海外メーカーが連携して開発を進めている騒音低減装置について、ICAO等における国際的な発信の強化等により認知度の向上を図り、実装への取組みを推進する。

3. その他丁寧な情報提供について

- 海外事例も踏まえ、ホームページをはじめとした情報提供の更なる充実化を図る。

着陸料における騒音料金の各空港比較

第7回検討会 資料5

		低騒音機	高騒音機
ヒースロー空港	大型機	A350-1000 騒音カテゴリ- Super Low $776.24 + 318.4 + 72.0 = \text{£ } 1,166.64$ (騒音) (NOx) (CO ₂)	B777-300ER 騒音カテゴリ- Super High $3,528.38 + 597.0 + 96.0 = \text{£ } 4,221.38$ (騒音) (NOx) (CO ₂)
	小型機	A320neo 騒音カテゴリ- Ultra Low $705.68 + 119.4 + 32.0 = \text{£ } 857.08$ (騒音) (NOx) (CO ₂)	A320ceo 騒音カテゴリ- Super High $3,528.38 + 278.6 + 40.0 = \text{£ } 3,846.98$ (騒音) (NOx) (CO ₂)

※昼間時間帯として計算 ※離陸料金を除く

(参考) 1 £ = 約210円

フランクフルト空港	大型機	A350-1000 騒音カテゴリ-7・インデックスR7 $761.56 + 412.8 + 565.02 \times (1 - 0.17) + 62.4 = \text{€ } 1,705.73$ (重量) (乗客) (騒音) (NOx)	B777-300ER 騒音カテゴリ-7・インデックスR5 $848.32 + 412.8 + 565.02 \times 1.0 + 117.0 = \text{€ } 1,943.14$ (重量) (乗客) (騒音) (NOx)
	小型機	A320neo 騒音カテゴリ-1・インデックスR7 $185.57 + 258.0 + 101.17 \times (1 - 0.11) + 23.4 = \text{€ } 557.01$ (重量) (乗客) (騒音) (NOx)	A320ceo 騒音カテゴリ-4・インデックスR4 $185.57 + 275.2 + 132.88 \times 1.0 + 54.6 = \text{€ } 648.25$ (重量) (乗客) (騒音) (NOx)

※昼間時間帯として計算 ※ノイズサーチャージ、旅客料金、駐機料金および各離陸料金を除く

(参考) 1 € = 約180円

羽田空港	大型機	A350-1000 騒音値94以下の機材 (93) $821,600 + (93 - 83) \times 2,000 = \text{¥ } 841,600$ (重量) (騒音)	B777-300ER 騒音値97の機材 $915,200 + (97 - 83) \times 5,100 = \text{¥ } 986,600$ (重量) (騒音)
	小型機	A320neo 騒音値94以下の機材 (87) $200,200 + (87 - 83) \times 2,000 = \text{¥ } 208,200$ (重量) (騒音)	A320ceo 騒音値94以下の機材 (91) $200,200 + (91 - 83) \times 2,000 = \text{¥ } 216,200$ (重量) (騒音)

※小型機についても国際線として計算

(凡例) 表中の○の大きさは、各空港ごとにおける金額の大きさの違いを視覚的に示したもの。空港間での大小は加味していない。

令和9年度
航空局関係予算概算
要求概要より抜粋

羽田空港の騒音対策の強化

- 低騒音機導入促進に向け、羽田空港の着陸料の騒音料金等を見直します。

【現在の羽田空港の着陸料】

(算定方法)

重量/旅客数課金



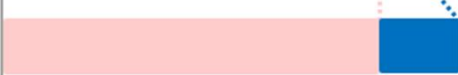
騒音値課金

(料金イメージ)

低騒音機



高騒音機



【見直し後の羽田空港の着陸料】

(算定方法)

重量/旅客数課金



騒音係数

(料金イメージ)

低騒音機



高騒音機

